※令和４年度以降入学生用

学校番号	206

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書道Ⅰ　（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書は自身の意図や感動を文字という素材を通して自己表現する芸術です。書の表現の方法、形式、多様性などを幅広く理解し、芸術としての書の美を表現し鑑賞する能力を伸ばす学習活動を行います。
・用具、用材の使用方法を学び表現の幅を広げ、表現力の向上を目指す学習活動を行います。
・作品完成後、制作記録や相互鑑賞評価を行い作品に対する客観的な視点や自他の違いに気付くことにより表現の幅が広がることを学びながら学習活動を行います。

２　学習の到達目標

（1）書の伝統に理解を深め、効果的に表現するための基礎的な技術能力を身に付けるようにする。
（2）書独自のよさ、美しさを感じ取り、制作意図に基づいて創意工夫し、新たな視点をもって創造的に表現することができるようにする。
（3）主体的に書の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育み、書の美を味わう感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の伝統の表現方法や形式を理解し、基礎的な技術を身につけ効果的に表現する工夫をしているか。また、材料や用具の特性を生かして表現方法を工夫しているかを評価します。	書独自の美を感じ取り、自己の内面を見つめて創造的に表現できているか、また他者の作品と自作との違いを理解することにより、自身の作品への客観的視点が養えているかを評価します。	主体的に書の創造活動に取り組み、新たな気付きや視点を書の表現に組み入れながら制作活動に取り組めているかを評価します。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

※令和４年度以降入学生用

1 学期	篆刻 漢字の書	【楷書】【鑑賞】 1. 書写のふり返り ・中学校で学習したことの確認と、楷書と楷書に調和する仮名について学習する。 2. 漢字の成立と変遷について理解する。 3. 書道字典の使い方を学び、自分の名前の五体を調べて漢字小字作品として表現する。 4. 基本的な用筆法の習得 ・九成宮醴泉銘、孔子廟堂碑、自書告身の臨書を基に楷書の基本点画、運筆法、用筆法、字形を学ぶ。 5.自己の内面を見つめた作品の取り組みとして自己紹介文を書く。 ・臨書学習をもとに漢字一字で自己を表現する。 ・高校入学時の感動を、漢字と仮名で表現する。 6. 鑑賞 制作記録をもとに、作品を鑑賞しあい作者の表現意図や作品に込めた思いを共有する 【篆刻】【鑑賞】 1. 落款の意味や種類について理解する。 2. 篆刻の用具、用材や落款印の手順について理解する。 3. 篆刻作品を鑑賞し、篆刻の美や風趣を味わう。 4. 自分の名前の印稿を作成し、刻する。補刀を繰り返して完成した印を印箋に押す。 5. 完成作品を漢字創作作品	a:(知識) 書の姿勢、執筆法、書の用具、用材の基礎的な知識を理解したか。漢字の成立と変遷について理解したか。各古典を比較して特徴を理解できたか。 （技能） 用具、用材の特性を生かすとともに表現方法を工夫して表現意図を追及できているか。 b:（発想や構想） 創造的な表現をするために様々な技法や構図を考えて効果的に表現できているか。 （鑑賞）他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:今の自分をしっかり見つめ、語句選びに試行錯誤を繰り返して題材を決められたか、題材にあう表現方法を工夫したか。 相互鑑賞や制作記録で主体的に意見交換や鑑賞に取り組むことができたか。 a:(知識) 篆刻手順を理解し、制作することができたか。 落款の意味を理解し、作品に生かすことが出来たか。 （技能） 用具、用材を的確に使用することが出来たか。 印稿通りに作品を完成させることが出来たか。 篆刻の技法を理解したか。 b:(発想や構想) 押印する作品をイメージして自分独自の姓名印を完成することができたか。印の輪郭と文字の調和を考えことができたか。	提出作品 取り組み状況 提出作品 取り組み状況 提出作品 制作記録 鑑賞記録 制作途中作品 制作記録 提出作品	提出作品 取り組み状況 提出作品 自己紹介文 提出作品 制作記録 鑑賞記録 制作途中作品 制作記録 提出作品	ト 取り組み状況 取り組み状況 取り組み状況 制作記録 鑑賞記録 制作途中作品 制作記録

※令和４年度以降入学生用

		に押印し鑑賞しあう。	（鑑賞） 他の生徒の作品を鑑賞してそれぞれのよさや美しさを感じ取れたか。 c：古典作品を鑑賞して、自分の印のイメージを描くことが出来たか。印稿や布字、刻を繰り返して完成作品に近づけることが出来たか。	鑑賞記録	鑑賞記録	鑑賞記録

※令和４年度以降入学生用

2 学期	漢字の書	【行書】【鑑賞】 1. 行書の特徴 ・基本的な用筆、運筆、字形の取り方を練習し、芸術的で多様な表現を味わう。 2. 蘭亭叙 ・運筆の緩急、抑揚、筆圧の強弱、筆脈や変化に富んだ字形を理解し学習する。 3. 争座位文稿 ・向勢の字形や筆圧の変化、ゆったりとした運筆を感じ取り学習する。 4. 漢字一字創作 ・自己紹介文をもとに漢字一字で今の想いや感動を独自の表現方法で工夫する。 ・制作途中で相互鑑賞を行い、意見交換を参考に自分の創作意図に近づくように工夫を加えていく。 5. 鑑賞 お互いの完成作品を制作記録をもとに作者の心情や表現の工夫などについて共有する。	a:(知識) 行書の成立と変遷や特徴を理解したか。 芸術的で多様な表現を味わうことができたか。 （技能） 行書の用筆、運筆、字形の取り方について理解し、表現方法を工夫できたか。 b:（発想や構想） 文字から得たイメージや文字に込めた想いを独自の発想で表現できているか。 （鑑賞） 他の生徒の作品から受ける良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:行書の用筆、運筆、構成、字形、表現のイメージを、試行錯誤を繰り返すことにより、創造的な表現に結びつけられたか、制作記録や鑑賞記録で主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組むことができたか。	取り組み状況 提出作品 提出作品 取り組み状況 制作途中作品 提出作品 制作記録 鑑賞記録	取り組み状況 提出作品 提出作品 取り組み状況 制作途中作品 提出作品 制作記録 鑑賞記録	取り組み状況 取り組み状況 取り組み状況 取り組み状況 制作途中作品 制作記録 鑑賞記録

※令和４年度以降入学生用

	仮名の書・年賀状作成	【仮名】【鑑賞】 1.　平仮名 ・仮名の成立と変遷を理解する。仮名の用具、用材の特徴を理解し、基本線を練習する。 ・平仮名の用筆や単体の字形の取り方の学習をする。 2. 変体仮名 変体仮名について理解し、豊かな表現を学習する。 3. 連綿 ・連綿線で表現される流動美と豊かな表現を学習する。 4. 年賀状作成 ・年賀状の意義や形式を理解し、仮名の用筆、用法を工夫して独自の年賀状を作成する。 5. 鑑賞 お互いの完成作品を発表しあい、作者の心情や表現の工夫などについて共有する。	a:(知識) 仮名の成立と変遷について理解できたか。 用具、用材の扱い方を理解したか。 （技能） 仮名の用筆、用法、字形について理解できたか。 b:（発想や構想） はがきの書式を理解し、年賀状を送る相手に気持ちが伝わるように書き方、用具、用材を工夫して表現しているか。 独自の表現方法で独創的に表現できたか。 （鑑賞） 他の生徒の作品から見える良さを感じ取り表現への理解を深めることができているか c:小筆の特徴を生かした筆の使い方ができているか、用途を考えて創造的な表現に結びつけられたか、鑑賞記録で主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組むことができたか。	取り組み状況 提出作品 提出作品 提出作品 制作途中の作品 提出作品 鑑賞記録	取り組み状況 提出作品 提出作品 提出作品 制作途中作品 提出作品 鑑賞記録	取り組み状況 取り組み状況 取り組み状況 取り組み状況

※令和４年度以降入学生用

3 学期	カレンダー作成	【漢字仮名交じりの書】【鑑賞】 1. 構成の工夫 ・漢字仮名交じりの書の変遷について理解する。 ・表現したい題材を様々な構成で工夫を試みる。 2. 表情の工夫 発想や構想に応じて様々な材料や用具、用材の特性を生かして表現方法を創意工夫し、創造的に表現す。 2.　カレンダー制作 カレンダー制作テーマを決め各月のイメージと表現語句を制作記録用紙で構想を練る。 表現意図に合わせた構成や表情の工夫を重ね、自分の想いや感動を表現する。 4. 鑑賞 お互いの完成作品を制作記録をもとに鑑賞しあい、作者の心情や表現の工夫などについて共有する。	a:(知識) 漢字仮名交じりの書の変遷について理解したか。題材の語句と各月のイメージが上手く表現できているか。 （技能） 表現意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに表現方法を工夫できているか。 b:（発想や構想） 語句や詩歌から感じ取ったことや題材に込める自分の想いを各月のイメージに合わせて創造的に表現できているか。 （鑑賞）他の生徒の作品の良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:題材を幅広く選び、創造的な表現に結びつけられたか、鑑賞や制作記録で主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組むことができたか。	提出作品 提出作品 制作記録用紙 制作途中作品 提出作品 制作記録用紙 鑑賞記録	提出作品 提出作品 制作記録用紙 制作途中作品 提出作品 制作記録用紙 鑑賞記録	取り組み状況 取り組み状況 取り組み状況 制作記録用紙 鑑賞記録

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度